



一般社団法人日本パラ陸上競技連盟

<http://jaafd.org>

登録会員各位

関係者各位

2021年7月6日

「東京 2020 パラリンピック競技大会 日本パラ陸上競技連盟推薦内定選手の件」

国際パラ陸上競技連盟（WPA）より、2021年6月23日付でハイパフォーマンスランキング枠（2018年10月1日から2021年6月6日）の国別人数割り当て数の通知がありましたので、一般社団法人日本パラ陸上競技連盟（増田明美会長）は、東京2020パラリンピック競技大会の推薦内定選手を以下のとおり、日本パラリンピック委員会（JPC）に推薦することを決定いたしましたことをご報告いたします。

日本パラ陸上競技連盟の選考規定につきましては、下記をご確認ください。

「東京2020パラリンピック競技大会の日本代表推薦選手の選考について（改訂第4版）」（<https://jaafd.org/wp-content/uploads/2021/07/0701para2.pdf>）

「ハイパフォーマンス割当枠の代表推薦選手選考基準（第2版）」

（<https://jaafd.org/wp-content/uploads/2021/07/0701para3.pdf>）

日本知的障がい者陸上競技連盟及び日本ブラインドマラソン協会の推薦内定選手につきましては、各競技団体にご確認をお願いいたします。

【この件に対するお問い合わせ】

一般社団法人日本パラ陸上競技連盟

japan-jimukyoku1@jaafd.org

【報道関係のお問い合わせ】

広報担当 小山 哲矢

t-koyama@cerespo.co.jp

電話：090/8725/6654



一般社団法人日本パラ陸上競技連盟

<http://jaafd.org>

◆選考過程について

I. 日本パラ陸上競技連盟へ分配されたハイパフォーマンス枠数について
WPA より日本へのハイパフォーマンス枠の配分は男子 7 枠、女子 6 枠であった。

(参考 : Tokyo2020 Slot Allocation Overview

https://www.paralympic.org/sites/default/files/2021-06/Slot%20Allocation%20overview%20for%20website_1.pdf)

この枠数をもとに日本ブラインドマラソン協会、日本知的陸上競技連盟、並びに日本パラ陸上競技連盟の 3 団体での協議により、日本パラ陸上競技連盟登録選手への枠数は男子 5 枠、女子 3 枠となった。

II. 代表推薦選手の選考過程

以下の通り、選手選考基準に則り、男女別に代表推薦選手を選出した。

1. 男子

i) 推薦順位算出手順 1. の「メダル獲得可能性をふまえ、ユニバーサルリレーチームを編成するために必要、かつ、未だ代表推薦を受けていない選手を推薦する。このチームの構成メンバーについては強化委員会で選出する。」に則り、3 名の選手を選出した。なお、編成は 1 チーム 4 名を超えたものであるが、ユニバーサルリレーの競技規則上、ならびに競技力を踏まえて、リザーブを含めて選出した。

ii) 推薦順位算出手順 2. の「メダル獲得可能性をふまえ、マラソン参加資格ランキング 4 位以内で、かつ参加枠を配分されなかった選手を推薦する。」の該当者はいなかった。

iii) 推薦順位算出手順 3. のハイパフォーマンス標準記録突破している選手を対象に、2019 年世界パラ陸上競技選手権大会、マラソン参加資格ランキング、2021 ジャパンパラ陸上競技大会の結果より算出される換算順位に基づき、上位 2 名の選手を選出した。

iv) 以上の経緯より、ハイパフォーマンス枠 5 枠の代表推薦選手 (男子) を選考した。



一般社団法人日本パラ陸上競技連盟

<http://jaafd.org>

2. 女子

i) 推薦順位算出手順 1. の「メダル獲得可能性をふまえ、ユニバーサルリレーチームを編成するために必要、かつ、未だ代表推薦を受けていない選手を推薦する。このチームの構成メンバーについては強化委員会で選出する。」に則り、1名の選手を選出した。なお、該当選手は後述の換算順位でも1位であることを付記する。

ii) 推薦順位算出手順 2. の「メダル獲得可能性をふまえ、マラソン参加資格ランキング 4 位以内で、かつ参加枠を配分されなかった選手を推薦する。」の該当者はいなかった。

iii) 推薦順位算出手順 3. のハイパフォーマンス標準記録突破している選手を対象に、2019 年世界パラ陸上競技選手権大会、マラソン参加資格ランキング、2021 ジャパンパラ陸上競技大会の結果より算出される換算順位に基づき、i) にて選出された選手を除いた上位 2 名の選手を選出した。

iv) 以上の経緯より、ハイパフォーマンス枠 3 枠の代表推薦選手（女子）を選考した

◆異議申立期間について

本連盟登録選手による異議申立は本件文書の公表後 5 日以内とする。異議申立がなされた場合には理事会において当該内容を検討し、本連盟としての最終回答を行う。

最終回答に対して異議のある場合は日本スポーツ仲裁機構への仲裁申立てが可能である。

本連盟への異議申立は、下記の日本パラ陸上競技連盟事務局宛での電子メールにて行うものとする。

日本パラ陸上競技連盟メールアドレス：japan-jimukyoku1@jaafd.org



一般社団法人日本パラ陸上競技連盟

<http://jaafd.org>

◆推薦内定選手一覧（五十音順）

【男子】

氏名	所属先	クラス	種目
生馬 知季	GROP SINCERITE WORLD-AC	T54	ユニバーサルリレー
大島 健吾	名古屋学院大学	T64	ユニバーサルリレー
久保 恒造	日立ソリューションズ	T54	5000m
小須田 潤太	オープンハウス	T63	走り幅跳び
松本 武尊	AC・KITA	T36	ユニバーサルリレー

【女子】

氏名	所属先	クラス	種目
高桑 早生	NTT 東日本	T64	走り幅跳び
高松 佑圭	ローソン	T38	ユニバーサルリレー、400m
竹村 明結美	アシックス	T38	400m